

令和6年2月26日

喜連川中学校保護者 様

さくら市立喜連川中学校長 山口 昭子

令和5年度 学校評価アンケート結果について

残寒の候、保護者の皆様におかれましては、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では、教育目標の達成状況を確認するとともに学校の課題を明確にして、よりよい学校づくりのために学校評価を実施しております。また、学校の説明責任を果たし、開かれた学校づくりを推進しながら保護者や地域との信頼・連携を強化し、生徒の健全育成を図ることも目的としています。

昨年の7月と12月に依頼しました学校評価アンケート集計がまとまりましたので、御報告いたします。保護者や生徒からいただいた評価や御意見をもとに、今後の学校経営に生かしよりよい学校づくりを目指して参りますので、今後とも御支援、御協力のほどよろしく願いいたします。

1 教育目標

(1) 基本目標

夢を持ち、ふるさとを愛し、ともに、よりよい未来を求めて、自己の可能性に積極的に挑戦する生徒の育成

2 具体目標ごとの評価

【自ら学ぶ子】(学習力の育成と基礎・基本の定着による確かな学力の育成)

今年度も各時間の「ねらい」を明確にし、「振り返り活動」をとおして生徒に応じたわかりやすい授業を実践してきました。1月に実施した学習に関するアンケートでは、「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」「グループなどの話し合いに自分から進んで参加している」という項目に高い評価が見られました。本年度も家庭学習の習慣の確立のために「帰りの会において、学習計画を立てる」ということに取り組んでまいりました。また、保護者アンケートにおいても『保護者の方は成績表を確認し、それについて励ましたりアドバイスしている』という項目について高い評価が得られ、昨年度より向上しています。学力向上には御家庭の協力が必要です。今後も、お子様を励ましながら家庭学習が進められるように引き続き御協力をお願いします。

【思いやりのある生徒】(他人との協調、思いやりの心)

学校評価の結果からは、『あいさつ』や『時・場・相手を考えた言葉づかいや行動』『友人との協力』『ルールやマナーを守った生活』の項目で昨年度と同様に高い評価が見られました。

また、今年度は人権教育に力を入れ、クラスの人権宣言を採択し、思いやりのある行

動や良い行いをしている人を見つける「『喜中のきらりさん』を探そう」を行いました。生徒対象の人権に関するアンケートを5月と1月の2回実施した結果、「自分にはよいところがある」という質問に対して、「とても思う、思う」と回答した生徒の割合が、8%増加しました。

【健康な生徒】（心身の健康と体力の増進）

生徒による学校評価では、「交通ルールやマナーを守った登下校」で高い評価が出ています。しかし、「規則正しい生活」については他の項目より今年度も低い割合となっています。

また、今年度は学校保健委員会において、「スマホの使い方を考えよう」というテーマで保健委員会を中心に話し合いを行いました。その中で、利用時間や、姿勢・睡眠のことが取り上げられました。学校においても規則正しい生活についての指導を続けてまいります。御家庭の御協力もよろしくお願いいたします。

【働く生徒】（学校愛・郷土愛と奉仕の心）

生徒による学校評価では、「ボランティア」に関する項目が、低い割合となっていますが、少しずつ活動の場も増え、夢さくら博・地域のお祭りなどのボランティア活動に参加しています。来年度も積極的に生徒へのアナウンスを進めていきます。

また、今年度も学校のきまりの一部改正を生徒会を中心に進めています。今年度は制服のスラックスについて改正しました。現在も、いくつかの課題について協議中です。また改正等がありましたらお伝えいたします。

【教職員の自己評価より】

教職員の学校評価においては、①「生徒一人ひとりが学習に取り組んでいたか」②「学校がきれいに掃除され、環境が整備されたか」③「地域との連携」について課題が見られました。

①については、授業への取組は全体的に前向きですが、家庭学習を大切にするという意識の向上が必要と考えます。1月に実施した学習アンケートにおいても、「〇〇の教科は将来のために大切だと思いますか」という質問に対して、いくつかの教科において、肯定的（80%以上）な回答に達しないところがありました。教職員の授業力の向上に努めながら、「学ぶ意義」や「学習の方法」等も伝えていきたいと思えます。

②については、本年度は坂道の凍結防止のため樹木の伐採を行いました。また、校舎西側の砂利道も整備する予定です。来年度は、屋内運動場長寿命化改良工事のため保護者の方にも御不便をおかけすると思えますがよろしくお願いいたします。

③については、授業において「家庭科の裁縫」のボランティア協力をいただきました。また、地域の方の協力を得て、「マイ・チャレンジ」や「職業人に聞く」を実施しました。今後も、地域の方の協力を得ながら活動を進めていきたいと思えます。

